



待望の配達再開

浪江の鈴木新聞舗



「新しい浪江のまちづくりに新聞店として参加していきたい」と話す鈴木さん

浪江・鈴木新聞舗

- ▽所長 鈴木裕次郎
(電話080・5644・2032)
- ▽住所 浪江町権現堂字反町7
- 電話 **0240・35・2032**
- ファクス **0240・34・4510**

※電話、ファクスは26日から。



東京電力福島第1原発事故で避難指示が続く浪江町で25日、福島民友新聞専売所「鈴木新聞舗」の鈴木裕次郎所長(33)が朝刊配達サービスを5年10カ月ぶりに再開した。震災後初めて朝刊を配達し、今後、町の再生に向けて動きだした町民や事業所を情報面で支える。

「新聞を配達してほしいという人がいる。誰かがやらなくてはいけない」。鈴木さんが販売店の再開を考えたのは昨年夏ごろ。地元新聞販売店としての使命感が、再開に突き動かした。

鈴木さんは約80年続く新

聞店の3代目。東日本震災翌日に朝刊を配達し、避難指示を受けて家族で福島市に避難。その後、都内の新聞販売店などに勤務した。

町は現在も避難指示が続き、避難指示解除に向けた準備宿泊が行われている。避難指示解除後は、町民の帰還や事業再開などが進んでいく見通しだ。

再開後は当面、鈴木さんが1人で切り盛りする。「ゼロから新しい浪江町をつくり上げていく。人が戻ってきたり、新しい人が来ることを期待しながら、新聞店として新しいまちづくりに参加していきたい」